

古関裕而のまち「ふくしまチェンバー・オーケストラ」 コンサート11月公演

指揮 ✨ 小林 研一郎

“炎のコバケン”の愛称で親しまれる日本を代表する指揮者。東京藝術大学作曲科、及び指揮科の両科を卒業。1974年 第1回ブタペスト国際指揮者コンクール第一位、及び特別賞を受賞。2002年ブラハの春音楽祭では東洋人初のオープニング「わが祖国」を指揮して万雷の拍手を浴びた。

これまでにハンガリー国立フィル、チェコ・フィル、アーネム・フィル、ロイヤル・コンサートヘボウ管、フランス国立放送フィル、ローマ・サンタ・チェチーリア国立管、ロンドン・フィル、ハンガリー放送響、N響、読響、日本フィル、都響等の名立たるオーケストラと共演を重ね、数多くのポジションを歴任。

ハンガリー政府よりハンガリー国大十字功労勲章(同国で最高位)等、国内では旭日中綬章、文化庁長官表彰、恩賜賞・日本芸術院賞等を受賞。

2005年、社会貢献を目的としたオーケストラ「コバケンとその仲間たちオーケストラ」を設立、以来全国にて活動が続けている。

CD、DVDはオクタヴィア・レコードより多数リリース。

現在、日本フィル桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィル・名古屋フィル・群響桂冠指揮者、読売日響特別客演指揮者、九響名誉客演指揮者、東京藝術大学・東京音楽大学・リスト音楽院名誉教授、ローマ ミュージック ファンデーション評議員等を務める。

オフィシャル・ホームページ ▶ <http://www.it-japan.co.jp/kobaken/>



ヴァイオリン ✨ 千住 真理子

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。バガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。

2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。

コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。また、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。

2020年はデビュー45周年を迎えた。これまでにリリースされたCDは数々の賞を受賞。2022年は最新アルバム「ボエジー」をリリース。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」(時事通信社、文藝春秋社文春文庫)母との共著「母と娘の協奏曲」(時事通信社)「千住家、母娘の往復書簡」(文藝春秋社文春文庫)など多数。

オフィシャル・ホームページ ▶ <http://marikosenju.com/>



©Kiyotaka Saito (SCOPE)

古関裕而のまち「ふくしまチェンバー・オーケストラ」

ヴァイオリン

中村 千鶴	伊藤 美紀	渡邊 拓真	森 里香	宮武 祐果	菊池 晶子
河野 美紀子	高木 早紀	菅野 千伶	伊藤 光敦	松野 愛梨	佐藤 瞳子
齋藤 恭太	戸村 実咲	柏原 悠	高橋 茉莉奈	清野 ゆりか	三原 愛梨

ヴィオラ

田口 厚子	飯 顕
加藤 大貴	石川 可奈子
村井 薫	仁科 友紀

チェロ

小島 幸法	橋原 彩
大槻 玲香	有馬 憧
布施 公崇	

コントラバス

河原田 潤	渡辺 哲郎
寺田 和正	

フルート

東條 茂子
穂苅由美子

オーボエ

阿部 友紀
芳野 円香

クラリネット

川越 あさみ
清川 貴子

ファゴット

井上 直哉
海野 隆次

トランペット

佐藤 秀徳
多田 将太郎

ホルン

布施 祐奈	佐藤 千明
三上 怜央	滝 莉理子

ティンパニ

上野 信一

古関裕而のまち「ふくしまチェンバー・オーケストラ」芸術監督

三浦 尚之

福島市出身。東京藝術大学音楽部附属高校及び大学卒業。

1964年5月東京文化会館小ホールにて、日本史上で二人目のコントラバスソロリサイタルを開催。同年7月渡辺暁雄指揮日本フィルハーモニー交響楽団と日本人として最初のコントラバス協奏曲を演奏(フジテレビネットワークより全国へ放送される)。

1966年フルブライト奨学生としてニューヨークへ渡米。ジュリアード音楽院博士課程にて学ぶ。レオポルド・ストコフスキー指揮アメリカン交響楽団副首席、メトロポリタン・オペラ・オーケストラ準団員、ニューヨーク・シティ・オペラ・オーケストラ正団員として活動。1975年ミュージック・フロム・ジャパン社を創設。日本の現代音楽をニューヨークを中心に世界各地へ精力的に紹介。1996年福島学院短期大学学長就任(2001年3月まで ※現福島学院大学)。

現在、福島市音楽文化総合アドバイザー、ミュージック・フロム・ジャパン理事長を兼務。



photo:Yuhka Miura

